

様式第7号（第11条関係）

チャイルドサポート相談事業実績報告書

2024年3月31日

（宛先）静岡市長

所在地	静岡市葵区北安東一
名称	丁目31番44号 静岡の未来を拓く会
報告者	代表者氏名 寺谷 正博
電話番号	090-9920-5467

令和5年7月1日付け 05 静市市第2031号により補助金の交付の決定を受けた事業が完了したので、静岡市チャイルドサポート相談事業補助金交付要綱第11条の規定により、次のとおり関係書類を添えて報告します。

1 交付決定額 444,640円

2 事業完了年月日 令和6年3月31日

3 添付書類

（1）事業実績書（様式第8号）

（2）収支決算書（様式第9号）

様式第 8 号（第 11 条関係）

事業実績書

事業名称	チャイルドサポート相談事業
事業実施期間	2023 年 7 月 1 日 ～ 2024 年 3 月 31 日
実施場所	番町市民活動センター 大里生涯学習センター
総事業費	644,640 円
事業目的	<p>相談事業を行うことで、困難を抱えている市民を支え、疲弊している学校現場を応援する市民主役の場をつくっていく。</p> <p>また、市民フォーラムやインターネットによる発信を行い、他の市民団体や学生との連携の輪を広げるなど、より多くの市民とつながっていく きっかけを作っていく、協働の輪を広げていく。</p>
事業内容	<p>本市の教育諸課題を解決していくため児童・生徒やその保護者、地域住民、学校、教職員などの声を受けて次のような相談事業を展開した。</p> <p>(1) 相談内容</p> <p>① 特別支援教育(就学相談など)に関すること</p> <p>② 学校での ICT 活用(GIGA スクール構想)に関すること</p> <p>③ 不登校に関すること</p> <p>④ 「主体的な学び」に関すること</p> <p>(2) 方法</p> <p>① 個別対面式相談 ロコミやインターネットからも申し込みを受け、相談者のニーズに応じた対応者を厳選し、対面での相談を 3 件実施した。アンケートにより「相談して良かった」という高評価を得た。</p> <p>② グループ相談(テーマ別) 特別支援教育、GIGA スクール、不登校、主体的な学びなど 4 つのテーマで相談会を実施し、計 100 名を超える参加者があった。参加者から「感動しました。静岡の教育をより良くしたいという教員が沢山いて励まされました。」などの感想があった。</p> <p>③ インターネット相談 インターネットを活用した非対面式相談を企画したが、高度な個人情報を開示することなどから利用者はなかった。</p>
事業を実施したことによる効果や影響	<p>本会の事業に延べ 800 人を超える直接参加があり、ホームページの閲覧を含めるとより多くの市民とつながることができた。</p> <p>特にチャイルドサポート相談事業では、相談者の切実な思いを伺い現状把握を深めると共に、「支えてくれる仲間がいる」、「自分にもできることがある。」などの安心感や前向きな思いにつなげることができた。</p>

	<p>一年間の活動評価でもある市民フォーラムご難波市長の参加をいただき、本会活動への高い評価をいた。市民活動の下支えの強化など市政の方向性についてのご提言もいただくことができた。</p>
--	---

小さな一歩ではあるが、地域社会の変化につながる取組になったと思われる。

様式第9号（第11条関係）

収支決算書

収入		支出	
チャイルドサポート相談事業補助金	444,640 円	(1) 報償費 外部相談対応者報償費 3,000 円×10 回	30,000 円
はごろも教育研究助成賞	200,000 円	(2) 消耗品費 事務用品(紙、付箋、マジックなど)	29,890 円
		(3) 印刷製本費 ・リーフレット印刷費 A3 二つ折りオールカラー1000 部 10,500 円、 ・ポスター印刷費 A0 3 枚 20,000 円	30,500 円
		(4) 通信費 イベント案内郵送 210 円×15 人	3,150 円
		(5) 広告料 イベント告知	10,000 円
		(6) 委託費 ・HP 活用した相談申込システム作成委託費 441,100 円 ・動画・写真撮影編集委託費 50,000 円	491,100 円
		(7) 使用料 視聴覚機器	10,000 円
		(8) 賃借料 相談会会場費 2,000 円×20 回	40,000 円
計	644,640 円	計	644,640 円